

鈴木重子 &
ウォン・ウィンツァン

『いのちの調べ』



Hospital Concert

【日時】 2015 年 9 月 17 日 (木) 17:00~17:40

【場所】 がん研有明病院 1 階ホスピタルストリート



がん研 有明移転 10th Anniversary



【プログラム】

♪. アメージング・グレイス

♪. ザ・ローズ

♪. ふるさと

他

【演奏者プロフィール】

ヴォーカリスト: 鈴木重子(すずきしげこ)

母の腕の中で聞いた子守唄。あの優しい響きが歌声に触れたはじまり。
幼い頃からピアノや声楽に親しみ、東京大学在学中に本格的にボサノヴァ、
ジャズヴォーカルを学ぶ。司法試験への挑戦と、ジャズクラブでの活動が続けながら、
自身の歩む道を模索。
「本当に好きなことをして、限りある人生を生きよう」とヴォーカリストの道を選択。
95年デビュー以降、多くの作品を発表。さまざまなジャンルの曲を独自のスタイルで表現し、
聴き手をやさしく包む澄んだ歌声は、多くの人々から愛されている。
平和の歌を集めるプロジェクト“Breath for Peace”発起人。
浜松市楽器博物館CD「リードオルガンに夢をのせて」参加。
朗読CD「あかり」発売中！

<http://shigeko.jp/>



ピアニスト: Wong WingTsan (ウォン・ウィンツァン)

神戸生まれ。19才よりジャズ、フュージョンなどを演奏。瞑想の体験をとおして自己の音楽の
在り方を見出し、88年よりピアノソロ活動を開始。その後インディーズレーベルSATOWA MUSICを
発足し、26タイトルのアルバムを発表。NHKスペシャル「家族の肖像」テーマ曲、BSHiスペシャル
「世界遺産中国・九寨溝」の音楽でも知られる。現在放送中のEテレ「こころの時代」や
NHK「にっぽん紀行」のテーマ曲も手がけている。全国でコンサートを行い、とくにインプロ
ヴィゼーション(即興演奏)では、音の力でオーディエンスの深い意識とつながり、静寂な
解き放たれた空間を創り出してゆく。超越意識で奏でる透明な音色で「瞑想のピアニスト」
と呼ばれている。

<http://www.satowa-music.com/>



がん研ボランティアシンボルマークのご紹介



がん研ボランティアシンボルマーク

がん研究会のかにのシンボルマーク  に因み、かにのはさみが
ボランティア (Volunteer) のVマークを象り、2つのかにのはさみは
手と手を取り合い、助け合いをイメージしたマークです。

ホスピタルコンサートのご報告



今月のホスピタルコンサートは、最多出演者である鈴木重子さんとウォン・ウィンツァンさんをお迎えいたしました。曲ごとに解説や思い出などをお話いただき、なごやかなコンサートとなりました。

ザ・ローズやアメージンググレイスなど、馴染みのある素敵な歌をたくさん聴かせていただき、お二人のハーモニーがとても素晴らしかったです。「ふるさと」では普段されているという発声練習を患者さんと共に行い、皆さんとても楽しそうな様子でした。また、終演後のCD販売では一枚一枚にサインをしていただき、患者さんも笑顔でお帰りでした。優しく心に響く歌声やピアノで、皆さんの心を癒してくださり、本当にありがとうございました。